

平成 29 年 2 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア マ ナ
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 進 藤 博 信
(コード番号 2402 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 担 当 田 中 和 人
TEL : 03-3740-4011

通期個別業績の前年実績値との差異、特別利益及び特別損失の計上並びに 剰余金の配当(無配)に関するお知らせ

当社は、平成28年12月期通期個別業績の前年実績値との差異、特別利益及び特別損失の計上並びに平成28年12月31日を基準日とする剰余金の配当(無配)につき決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成28年12月期通期個別業績の前年実績との差異(平成28年1月1日～平成28年12月31日)について

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前期実績(A)	16,876	△654	△984	△1,442	△290.10
当期実績(B)	17,009	379	253	12	2.61
増減額(B-A)	133	1,033	1,237	1,455	
増減率(%)	0.8%	-	-	-	

差異の理由

当社グループでは、デジタル技術の進化やメディアの多様化によって大きく変化するマーケットに対応するためモデルの変革を行い、平成28年12月期は、この変革したモデルによる事業を展開した結果、売上高は前期に比べて増加いたしました。利益面においては、提供するクリエイティブサービスの多様化に対応するため、目標とする重要指標を売上高から事業付加価値額(売上高-外注原価)に変更し、収益性にフォーカスしたマネジメントを推し進めた結果、生産性が向上しました。営業利益、経常利益については、前期に比べて増加し、当期純利益については、特別利益及び特別損失を計上いたしました。前期に比べて増加いたしました。

2. 特別利益及び特別損失の計上について

(1) 特別利益の計上について

当第4四半期会計期間に発生した賃貸物件の返却に伴う受取補償金 130 百万円を計上しました。

(2) 特別損失の計上について

当第4四半期会計期間に発生した賃貸の返却に伴う建物付属設備等の固定資産除却損 126 百万円(累計期間においては固定資産除却損 129 百万円)、関係会社株式評価損 141 百万円、投資有価証券評価損 55 百万円を計上しました。

なお、関係会社株式評価損につきましては、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (平成28年2月18日公表)	前期実績 (平成27年12月期)
基準日	平成28年12月31日	平成28年12月31日	平成27年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

修正の理由

当事業年度においては、当期純利益を計上したものの、なお累積損失が存在することから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

以上